

『またとない今を』

悔いなく生きよう』

伊藤 眞作

ガラシヤは言った

花が うつくしいのも

人生が うつくしいのも

それが有限だからだ

有限こそ

その内包に

真の

無限をふくむ

たまには

カントールの

アレフの境地に

ゆあみ

しようではないか

おのれの時刻は

おのれの手で刻もう

歩幅を狭めつつ

それでこそ

ふかい

おもいでが

うまれる

へんかくの

精神に  
ねざすから  
時刻が  
ひろがり続け

ここにこそ  
気韻静動が  
湧き出す

たまには  
ぼーっとしつ  
ポロツクの

世界を  
あそぼうではないか

この時刻  
この場所こそ  
あらゆるいきもの  
よぎった みち

さあ  
新たに  
生きよう  
これから  
ともに

国葬  
勝共連合 統一教会  
モリ・カケ 桜を見る会  
消費税 コロナ世界一の日本

湧き挙がる  
変革の意志が尽きず  
近づきつつも発生する中間点  
それらの深い思いを生みつつ  
湧き出し尽きない時刻